

未利用木材を活用しペレット製造

第3セクター

「庄原さとやまペレット株」を設立

政策推進課 80824731113

市は、豊富な森林資源を有効活用する「木質バイオマス活用プロジェクト」の一環として、地元の未利用木材を原料とする「ペレット」の製造施設を整備しています。

11月20日には、ペレット製造および施設の運営を担う事業体として、第3セクター「庄原さとやまペレット株」を設立しました。

地球環境保護と地域活性化を目指す

ペレット製造事業は、放置されてきた未利用の木質バイオマスを新たなエネルギーとして有効活用することにより、循環型社会の構築や二酸化炭素排出量の削減、森林・里山再生といった環境問題への対応、さらにはエネルギーの地産地消や新産業創出による地域活性化を実現することを目的としています。

年間生産量は平成22年度に500ト、将来的には1千トを目指します。

第3セクターで事業運営

この事業は、エネルギーの地産地消や里山再生といった「公益的」な目的を持つ一方、地域活性化や新産業創出を図る「経済的」な側面も併せ持つため、第3セクターで運営します。

事業運営を担う庄原さとやまペレット株は、コスト低減と民間ノウハウの活用により収益性を維持しつつ、事業の持つ公益的な目的の達成を目指します。

工場は来年3月に完成する予定。4月からは、会社による庄原産ペレットが製造されます。

人と地域と地球にやさしいまちづくり

木材価格の低迷や担い手不足・高齢化、あるいは消費者ニーズの変化など、木材事業を取り巻く状況は非常に厳しく、そのため、手入れがされずに荒廃する森林が増加しています。

市は、ペレット原料を事業者だけでなく個人の方からも受け入れるシステムを構築していきます。このシステムは、材を持ち込まれた山元の利益につなげることで身近なところでの山の手入れを促進し、森林・里山環境の再生を図ることを目的としています。

庄原さとやまペレット株では、ペレット製造事業を安定的に実施し、公益性と経済性の両側面における効果を創出することで、「人と地域と地球にやさしいバイオマスタウン庄原」の実現を目指します。



ペレット

ペレット製造事業の概要

- ①生産量：平成22年度は500ト/年、最終的には1,000ト/年を目標とする。
- ②供給先：主に新庁舎や公共施設のボイラー、市内のペレットストーブなどへ供給
- ③施設・設備：土地、建物、機械を市が整備（農林水産省の補助事業を活用）
- ④その他：施設屋根には太陽光発電設備を設置します。

庄原さとやまペレット株の概要

市と森林組合、商工会議所・商工会、木材関連事業者、ペレットストーブ販売代理店など20者からの賛同により設立。

- ①資本金：設立時3,400万円→増資手続きを経て3,600万円になる予定。（うち市の出資金は2,000万円）
- ②役員：取締役9人、監査役2人
代表取締役社長 藤原澄人（備北森林組合代表理事組合長）
- ③本店所在地：庄原市是松町20番地31（庄原工業団地内）
- ④設立：平成21年11月20日
- ⑤主な事業
 - 木質ペレットの製造・販売および原料の収集・加工
 - 木質ペレット製造工場の運営
 - ペレットなどの木質バイオマスの普及啓発に関する事業

庄原さとやまペレット株

